



近藤喜文展ビジュアル 「耳をすませば」 絵コンテ（部分）
©1995 株式会社集英社・Studio Ghibli・NH



「魔女の宅急便」イメージボード 1989年
©1989 丸野栄子・Studio Ghibli・NH



「名探偵ホームズ」イメージボード 1981年
©RAI・TMS



光善寺 薬師如来坐像および両脇侍像



善教寺 阿弥陀如来立像(上半身)



©DMM GAMES/Visualworks

開館5周年記念特別展
この男がジブリを支えた。近藤喜文展

2019年7月6日(土)―9月16日(月・祝)

一般:1,300円(1,040円)/学生:800円(640円)/小中高生:500円(400円)/未就学児無料
※年間パスポートはご利用いただけませんので、予めご了承ください。

近藤喜文は、新潟県五泉市に生まれ育った日本屈指のアニメーターで、高畑勲・宮崎駿両監督から厚く信頼を寄せられていた人物です。彼が急逝する前に手がけた唯一の長編監督作品「耳をすませば」は、今もなお多くの人に愛されています。本展では、近藤喜文が描いたキャラクター・デザインやアニメーション原画、イメージボード、スケッチ等多数展示します。清潔な人柄と温かな眼差しから生まれた近藤喜文が描き出すジブリ作品の世界をお楽しみください。

開館5周年記念特別展
三重の仏像 ～白鳳仏から円空まで～

2019年10月5日(土)―12月1日(日)

一般:1,000円(800円)/学生:600円(480円)/小中高生無料

三重県は、かつて都のあった奈良や京都から比較的近く、県内には多くの優れた仏像が伝存しています。また、近年は仏師の活動がうかがえる発見など、調査研究による新知見の蓄積が進んでいます。この特別展では、平安・鎌倉期の仏像を中心に、秘仏、本尊を含む選りすぐりの三重の仏像を一堂に会し、その魅力をさまざまな角度から紹介します。MieMu 初、三重で16年ぶりに開催する本格的な仏像展です。なお、期間中、合同会社 DMM GAMES のご協力により、オンラインゲーム「なむあみだ仏っ! - 蓮台 UTENA-」とのタイアップイベントを開催する予定です。